

第5学年 国語科 学習指導案

日 時：令和3年12月10日
学 級：第5学年1組（39名）
指導者：鈴木 可奈子

1 単元名 伝記を読み、自分の生き方について考えよう。
(教材名：「やなせたかし ―アンパンマンの勇気」光村図書5年下)

2 単元の目標

- (1) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)オ
- (2) 語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすることができる。
〔知識及び技能〕(1)オ
- (3) 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)イ
- (4) 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)カ

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。(1)オ	① 「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ) ② 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) ③ 「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ)	① 積極的に、文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って、考えたことを交流しようとしている。

4 単元について

(1) 学習指導要領解説より

本単元は、小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 国語編 第5学年及び第6学年の内容 2〔思考力、判断力、表現力等〕のC読むことカを中心に設定した。また、(2)ではイの言語活動例に基づいている。

C 読むこと

(1) 指導事項

カ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。

(2) 言語活動例

イ 詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。

伝記の特性を知り、伝記の読み方を学ぶことで、人物に共感したり、学んだり、考えを深めるきっかけを得たりすることができるようにする。そしてそれに対して自分の考えを形成し、友達と考えを交流し、共有することで、自分の考えを広げていけるようにすることをねらう。

(2) 児童の実態

中学年の頃より朝のスピーチに取り組んでいる。発表、発言をすることを張り切って行う児童である。

物語教材では、「なまえつけてよ」「たずねびと」において、中心人物の心情の変化などを捉えて物語の人物像や全体像を考えることを行ってきた。また、「たずねびと」では、物語を読んで理解したことを基に自分の考えをまとめ、伝え合うことを学んだ。自分の考えをもつということに難しさを感じる児童もいたが、友達と交流することで、どのような視点で考えたら良いのかを掴みながら行うことができた。また、自分の考えと友達との共通点や相違点を考えながら交流することで、考えを共有することに満足感を得られている児童も多い。

(3) 単元の展開について

児童は、本単元で初めて伝記に触れる。出来事や描かれる人物の言動を正確に捉え、人物の生き方を理解した上で、伝記を通して見出した生き方や考え方について友達と共有していけるようにしたい。

伝記は、物語や詩のような行動や会話、心情などを基軸に物語る文学的な描写と、事実の記述や説明の表現が用いられる説明的な描写で構成されている。そして、語られる出来事は、筆者により取捨選択されたものである。

まず、出来事やそれに対する人物の行動、会話などの事実を捉えられるようにする。その上で、出来事や人物の言動に対する評価など、筆者の考えに着目し、客観的に人物を捉えたい。さらに、心情などの文学的描写を総合し、人物の生き方や考え方に触れ、人物像を思い描き、人物の生き方や考え方と自分を関わらせていけるようにしていく。

そのために、人物の生き方や考え方のどこに共感したのか、同じような考えをしたことはないかなど、人物を通して自分を見つめ直し、新たな考えや理想を抱けるようにしたい。人物の生き方や考え方を本文から引用しながらまとめ、さらに自己を見つめながら、自分の考えや行動、信念などを関連させて書き加え、文章にまとめて交流していく。

児童は、アンパンマンについては親しみがあるであろう。一方で、作者の「やなせたかし」をよく知る児童は少ないと思われる。生い立ちや戦争などの体験が彼の生き方に大きな影響を与え、アンパンマンを生み出す原動力となり、正義とは何か、勇気とは何かを考えるきっかけとなり、夢と信念をもち、人のために尽くすたかしの姿に、心が揺さぶられることであろうと考える。

5 研究主題との関連

育成を目指す子どもの姿（重点）

- ②情報を比較・分類・関連付け・理由付けをしながら自分の考えを広げ、深めることができる子
(思考力、判断力、表現力等)
- ③多様な考えを生かしながら、根拠をもって考え、創造する子
(思考力、判断力、表現力等)
- ⑤互いの違いやよさ、個性を認め、尊重し合い、協働してよりよいものを求めようとする子
(学びに向かう力・人間性等)

【**思考力・判断力・表現力** 創造性 **多様な考え** **主体性** 社会性 思いやりの心 **協働性**】

具体的手だてと活動

- ・育成を目指す子どもの姿に迫るために
- ・主体的・対話的で深い学びに迫るために

関係付けて考えること
(カリキュラム・マネジメントの視点)

「関係付けて考えること」をカリキュラム・マネジメントの視点とし、本単元では以下の「関係付けること」を意識して、学習を進めていく。

①出来事と行動や考え、生き方における意味を関係付けて考える。

文章で取り上げられている人物に起きた出来事に対して、人物がどのような行動をし、考えをもったか、そしてそのことが人物の生き方にどのような意味をもたらしたかを関係付けて、文章の内容と構造を捉えて読む。

②既存の知識や経験と関係付けて考える。

文章の内容と構造を捉え、理解したことに基づいて、自分の既存の知識や経験と関係付けて、感想をもったり、考えをまとめたりして読む。

特別の教科 道徳との関連
(カリキュラム・マネジメントの視点)

5年生の道徳には、イチロー、ベートーベン、ピカソ、宮澤賢治が扱われている。道徳の学びの中でも、人物やその生き方に興味をもったり、自分の生き方に重ねたりする。そこで、「自分の生き方や考え方と重ねて考える」という、ものの見方や考え方を常に意識化させるようにする。ここでは、自分の考えをもち交流する中で、考えを広めたり、高め合ったりする場が設けられる。また、様々な人物との出会いも増え、人物相互の相対的な見方もできるようになると考える。

単元計画の工夫
(主体性)

伝記は、人物の考え方や生き方を表す文学的な側面と、筆者の意図による説明的な側面をもつ特殊性がある。そこで、その人物の考えや生き方を読むことと、筆者の意図を探りながら読むことを行き来しながら読み深め、自分の考えをもつに至るようにする。また、その学んだ読みの過程を生かして、自分が選書した伝記を読み、終末の人物紹介交流会へと生かしていけるようにする。

小集団の活用

(思考力・判断力・表現力)

本時はココ！

考えて終了、書いて終了ではなく、自分の感じたこと、考えたことを対話、交流することで共有し、自分の考えを広げられるようにする。そのために、小集団を活用し、随時対話、交流の時間を取り入れ、自分の考えを広げ、再構築していくようにする。対話、交流の中で、互いの意見や感想の違いを明らかにしたり、互いの意見や感想の良さを認め合ったりすることができるようにする。

6 指導・評価計画（全6時間）

過程 (次)	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
一 構造と内容の把握	1	<p>○アンパンマンについて知っていることを想起する。</p> <p>○やなせたかしについて知る。</p> <p>○学習課題を設定し、単元の見通しをもつ。</p> <div data-bbox="363 667 1062 808" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">学習課題</p> <p style="text-align: center;">伝記を読んで、人物の生き方について読み深め、自分の生き方について考え、交流しよう。</p> </div>	<p>◇様々な伝記を学年文庫に用意し、手に取れるようにしておく。</p> <p>◇やなせたかしの写真、アンパンマンの絵を提示し、興味を向けられるようにする。</p> <p>◇人物の生き方や考え方に着目できるよう、児童の感想や考えを取り上げる。</p> <p>◇学習のねらいと言語活動の内容を具体的に示し、学習の見通しがもてるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな人物であるかを捉える。 そのために、 ・人物の人生における行動や考え方を知る。 ・自分自身と結び付けて考える。 	<div data-bbox="1142 1050 1517 1283" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【態】① 学習課題を捉え、学習計画を立てようとしたり、伝記を読もうとしたりしているかの確認。（発）</p> </div>
二 精査・解釈	2 本時	<p>○グループで話し合い、書かれている出来事を人生グラフに位置付けて考える。</p> <p>○グループの考えを全体交流する。</p> <p>○人生グラフを見ながら、それぞれの出来事の意味について話し合う。</p> <p>○やなせたかしの人物像にて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やなせたかしは、～～な人だ。」という一文でまとめる。 	<p>◇ホワイトボード上で、ナンバリングした出来事を人生グラフ上で動かし、話し合えるようにする。</p> <p>◇行動や考え方など根拠に触れながら、交流し、共通点や相違点を見付けながら交流できるようにする。</p> <p>◇戦争をきっかけとした様々な出来事がアンパンマンにつながっていくことに目を向けられるようにする。</p>	<div data-bbox="1142 1816 1517 2049" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【思】① 人物の考え方や心情などについて、描写を基に捉えることができているかの確認。（発）（記）</p> </div>

	3	<p>○筆者の取り上げた出来事はどのようなものであったか、前時を想起して確認する。</p> <p>○やなせたかし年表から、本文に書かれている出来事、いない出来事は何かを考える。</p> <p>○多くの出来事の中から、筆者が選んだ出来事には、筆者のどのような意図があるのかを考える。</p>	<p>◇本文に出てきたもの以外に、他にはどんな出来事があるのだろうと興味を引き出し、年表で確認する動機付けとなるようにする。</p> <p>◇筆者の考えが含まれるのが伝記の特色であることを押さえ、筆者の意図を考える意識をもちながら考えるようにする。</p> <p>◇本文中で、多く出てくる出来事は何か、そこで伝えたいことは何かを考え、筆者の意図を考えるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争 東日本大震災 ・命 正義 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【知】① 出来事や人物の行動、考え方を捉えるときに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識しているかの確認。(発)(記)</p> </div>
三 考 え の 形 成 ・ 共 有	4	<p>○今まで読み取ったことと、自分自身のこととを結び付けて、やなせたかしに対する自分の考えを書くための書き方を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">伝記から読み取ったこと</div> <ul style="list-style-type: none"> ・人物像 ・人物の行動、考え方 <p>+ 自分自身のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段考えていること ・実生活での体験 ・もっている知識 <p>○自分の考えを書く。</p> <p>○考えを交流し、共有する。</p>	<p>◇前時までに考えた、人物像や人物の行動や考え方を想起し、そこに自分の考えを重ねたり、比べたりするという自分の考えの書き方を伝える。そのために有効な考え方のワードを以下のように提示する。</p> <p style="padding-left: 20px;">自分も… 自分は… 新しく知った。 初めて考えてみた。 考えが深まった。 考えが変わった。 こうなりたい。</p> <p>◇互いの意見や感想の違いを明らかにしたり、互いの意見や感想の良さを認め合ったりすることを促す。</p> <p>◇交流後、付け足したり、書き換えたりしてよいことを伝える。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【思】③ 人物の人生において、それぞれの出来事にどんな意味があったかを考え、意見や感想を共有し、自分の考えを広げているかの確認。(発)(記)</p> </div>

四 精 査 ・ 解 釈 考 え の 形 成 ・ 共 有	5	<p>○紹介カードへのまとめ方を知る。</p> <p>○心に残った伝記を選び、紹介カードにまとめる。</p>	<p>◇紹介カードの書き方見本を提示し、イメージがつかめるようにする。</p> <p>◇心が引かれたページには、付箋を付けておき、すぐに読み返せるようにしておく。</p> <p>◇カードには人物像を一文でまとめ、その人物に対する自分の考えを書くようにする。</p>	<p>【思】② 自分の選んだ伝記について自分と関わらせて内容を捉え、考えたことをまとめることができているかの確認。(発)(記)</p>
	6	<p>○紹介カードをもとに交流する。</p> <p>○交流して気付いたことや考えが深まったことなどを発表する。</p> <p>○単元を振り返る。</p>	<p>◇クラスの友達の紹介カードをたくさん読むように促す。</p> <p>◇友達の考えの共通点や相違点などを考えながら、紹介カードを読むように促す。</p> <p>◇伝記を読むことのおもしろさなどを考え、単元を振り返れるようにする。</p>	<p>【態】① 交流して考えが広がったところなどの観点で、単元全体を振り返ろうとしているかの確認。 (発)(記)</p>

7 本時の学習（2 / 6 時間）

(1) 目標

人物の出来事や行動、考え方の相互関係を捉え、人物像を考え、まとめることができる。

小集団の活用
 (思考力・判断力・表現力)

(2) 展開

主な学習活動	◇指導上の留意点 ・支援 ☆評価
1 前時までの学習を振り返る。 2 本時の学習課題を確かめる。	◇前時までの学習を振り返るために、伝記に取り上げられている出来事を順番に並べ、出来事を確認する。
人生の出来事から人物の考え方を捉え、やなせたかしがどんな人物かを考えてまとめよう。	
3 グループで話し合い、書かれている出来事を人生グラフに位置付けて考える。 4 グループの考えを全体交流する。 5 人生グラフを見ながら、それぞれの出来事の意味について話し合う。	◇ホワイトボード上で、ナンバリングした出来事を人生グラフ上で動かし、話し合えるようにする。 ・根拠や理由を伝えながら、叙述を明確にして話し合うことを促す。 ・出来事に対して目を向け、+、-を考えるように声を掛ける。 ◇行動や考え方など根拠に触れながら、交流し、共通点や相違点を見付けながら交流できるようにする。 ◇戦争をきっかけとした様々な出来事がアンパンマンにつながっていくことに目を向けられるようにする。 ・大きく-になった出来事に対して目を向け、+の出来事とつながりはないのかを考えるように促す。
6 やなせたかしの人物像について考える。 ・「やなせたかしは、〜〜〜な人だ。」という一文でまとめる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <u>概ね満足できる児童への手だて</u> ・考えたやなせたかしの人物像から、感じたことや考えたことを書くように促す。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <u>概ね満足できる状況を目指す児童への手だて</u> ・板書から見えるそれぞれの出来事のとつながりのワードをもとに書くよう促す。 </div> ☆【思】① 人物の出来事や行動、考え方の相互関係について、描写を基に捉えることができているか。(発)(記)
7 振り返りをする。	◇人物の出来事における行動や考え方を関連付け、人物像を考える伝記の読み方を確認する。 ◇次時を想起する。

8 板書計画



